



既存の桜の多くが罹患しており、これから感染すると思われるので、その対策が頭痛の種です。作業終了後は、熱い豚汁とオニギリで親交を深めました。



1月10日定例会

今年最初の定例会は56名が参加。集合写真を撮った後、5班に分かれて作業開始。冬の定例会は天狗巣病の罹患枝の切除が主たる作業になります。深坂の森では、

1月11日石楠花見学会

福富征男、上島政利、西川浩子、平野正、江原寛治、城戸哲郎の6氏が参加。平野正さんの報告をご覧ください。写真は深坂の石楠花植栽予定地で、事前に植える場所を示す為、竹杭が打たれています。

200本の竹杭の準備と現地で打込む作業は平野正、常岡梅男、上島政利、福富征男氏と福富建具社員で2月27日行われました。大変ご苦労様でした。

友田川圃場

ソメイヨシノの苗がすくすくと育っています。圃場を作る事に関して反対意見も少なからずありましたが、そこは素人だから何でも挑戦することができます。苗が育つだけでなく、それだけ桜に関する知識、経験が増えるわけで、今では高く評価されています。

山桜と大島桜

左の写真は、同じく圃場に植えられた実生から育った山桜の苗。1月10日に移植しました。その下は同時に移植された大島桜の苗です。いずれも深坂の森で採集された種子で平野正さんが育てたものです。

タラノメ

一番下の写真はタラノメを採集する為に、福山のボランティア団体の方から頂いた新駒という品種の苗二本。深坂の森よりは畑の方が良いらしい。だんだん賑

やかになってきました。

投稿

シャクナゲ園検討報告 その1

「深坂の森にサクラの他にも色々楽しめる場所作りたいチーム」がシャクナゲの調査を始めました。

1. 候補地の一つを実地見分

森林組合事務所からバーベキュー広場までの道の山側の杉林。サクラ植栽地域。杉の半日陰と、山の沢筋に当たる南斜面。金川老（後出）の話聞くまでは割合良さそうだとイメージを膨らませた。

2. 豊田町「長正司藤棚」見学

藤棚への登り道脇に三段畑の立派なシャクナゲ園が出来ていた。藤棚から更に上まで登り西市の町並みを見おろすと爽快。急な斜面の草刈が立派。桜は古木で私達の悩みと同じく「天狗巣」が大変そう。

3. 長門市西山地区シャクナゲ園見学

アポイントは取れていなかったが、園の頂上付近で、下から登ってきた金川さんにお会いできて、幸運にもお話しができた。

イ. シャクナゲは気難し屋で、(品種作りを兼ねて)種から育てながら、北側面、平地、等試したためしやっている。

ロ. シャクナゲの自生地は、標高400m位が多く、水はけ良く、水蒸気の雰囲気があるところ。潮風は駄目。

ハ. 苗をもらって次の年花が咲いたと喜ばれるが、3年位して枯れることが多く、4年5年経て、はじめて根付いたかなあと云える。

ニ. 病菌に対し防除の良い方法がまだ無い。

ホ. 花は実生で、6～9年かかる。ここではハウス栽培は全く考えない。

ヘ. イノシシに根元を掘り返されることはあるが、シカはシャクナゲの新芽を狙ってくるので始末に終えない。

他にも色々お話を聞かせて戴いたが、金川さんに深坂の現地の診断をして戴けると大変有難い。今後の交渉や如何に。さらに苗を分けて戴ければと期待を膨らませる。

金川さんの園地は、豊田町の隣地で、標高200m、冷涼な、潮風とは縁の無い環境。深坂の森は、南北の山並みが、東と西に流れて、標高は、80～150m。台風や北西の潮風はさえずってくれるので何とかいけるのではなかと期待したい。

(平野 正)

予定

4月4日(日)9時 「深坂さくらえ」

恒例の桜ウォーク、健脚コースは見晴らし台。健康コースは植物観察。その他にプラスバンド「維新」、勝山会(創作太鼓)の演奏出演があります。昼食はご持参ください。パン、生鮮野菜の販売。桜募金への協力をお願いして、ぜんざいはサービスの予定。

4月9～12(金～月)桜研修会(韓国釜山慶州)

5月16日(日)9時 総会 森の家にて

総会に引き続いて定例作業を行います。